

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 騒音		-	-	-	-			
1.2 遮音		-	-	-	-			
1 開口部遮音性能		-	-	3.0	-			
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
1.3 吸音		-	-	3.0	-			
2 温熱環境								
2.1 室温制御		-	-	-	-			
1 室温		-	-	3.0	-			
2 外皮性能		-	-	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		-	-	3.0	-			
2.3 空調方式		-	-	3.0	-			
3 光・視環境								
3.1 昼光利用		-	-	-	-			
1 昼光率		-	-	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		-	-	3.0	-			
3.2 グレア対策		-	-	-	-			
1 昼光制御		-	-	3.0	-			
3.3 照度		-	-	3.0	-			
3.4 照明制御		-	-	3.0	-			
4 空気質環境								
4.1 発生源対策		-	-	-	-			
1 化学汚染物質		-	-	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		-	-	-	-			
1 換気量		-	-	3.0	-			
2 自然換気性能		-	-	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能								3.9
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		-	-	-	-			
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		-	-	-	-			
1.3 維持管理		-	-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性								
2.1 耐震・免震		3.3	0.50	-	-			3.3
1 耐震性		3.0	0.50	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.80	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	耐用年数20年以上を有する仕上材を選定。	2.0	0.20	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途3種の2種類以上B以上を採用し、Eは不使用である。	3.0	0.10	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-			
		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			4.0	0.20	-	-	
1	空調・換気設備	中央式空調方式を採用せず、各居室ごとにシステムを分割している。	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	評価する取り組みにおいて、3項目が該当する。	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備	評価する取り組みにおいて、3項目が該当する。	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA以上の支持方法を指定している。	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			4.5	0.50	-	-	4.5
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	全フロア階高6.7mで計画。	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満につき、自由度が高い平面計画としている。	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	配管の更新と修繕を容易にできるように天井裏にフドウ棚を設置。	4.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	横引管をビット内や天井内に計画し更新性を向上。	4.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ビット、EPS、天井内を配線し更新性を向上。	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	ビット、EPS、天井内を配線し更新性を向上。	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観条例等に準拠し、まちなみに合う景観を形成している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			5.0	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.41 住宅(専有部)	5.0	0.63	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		5564.4/13428.7=0.41 (BEI)	5.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具の選定、擬音装置の設置。	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.60	-	-	2.9
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	内部間仕切りは全て乾式とし、設備と内装材は分離して計画。	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		有害物質を含まない材料 2項目該当。	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	平均GWP=1.31	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		43.81/59.5=74%	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		敷地内にガスの引き込みがなく、燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	平均居住人数に対して、駐輪場、駐車場、切り下げを十分に確保。	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	-	-	-	
1	騒音		-	-	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.67	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			2.3	0.33	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		2.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	